

感染症胃腸炎

感染症胃腸炎は、ウイルスや細菌などが原因である感染症で、嘔吐や下痢が主な症状です。なかでも、ノロウイルス、ロタウイルスが原因となることが多く、不十分な汚物処理で集団感染を引き起こします。春先前後の1月から4月に流行します。

ノロウイルスとロタウイルスの違い

●ノロウイルス

- ・子どもから大人までかかる
- ・急激に発症し、主な症状は、嘔吐・吐き気、下痢
- ・微熱が多い
- ・ウイルスの種類が多く何度も感染する

●ロタウイルス

- ・乳幼児が主にかかる
- ・感染から発症まで先潜伏期間 2~4 日間あり、感染に気付かず二次感染する。症状は、嘔吐・吐き気、下痢で白い便
- ・39℃を超える発熱

二次感染

ノロウイルスもロタウイルスも、感染した人の便に大量に含まれているため看病をする人にも移る二次感染の危険があります。特にロタウイルスは、ノロウイルスより100万倍の大量のウイルスが含まれ、非常に強い感染力です。感染者の排泄物を処理する際の衛生管理がとても大切です。さらに、症状が治まった後も7日から10日間は便にウイルスを排出し続けるので、油断は禁物です。

ノロウイルスを広げないための3つのポイント

① 汚物はすぐに拭き取る・乾燥させない！

ノロウイルスは乾燥すると空中に漂い、口に入って感染することがあるので、嘔吐物や糞便は速やかに処理します。

② きれいに拭き取ってから消毒する！

ノロウイルスには家庭用塩素系漂白剤を水で薄めた塩素消毒液が有効です。塩素消毒液は、汚物が残っている状態で使用すると、ウイルスに対する消毒効果が低下するので消毒前には汚物をきれいに取り除くことが重要です。

③ しっかり手洗いをする！

ノロウイルスを広げないためには、しっかり手洗いをして手からノロウイルスを落とすことが大切です。

手洗いのタイミングは、嘔吐物などの処理後、拭き取り掃除後、調理の前、食事前、トイレの後、おむつ交換の後など



塩素消毒の方法

次亜塩素酸ナトリウムを水で薄めて「塩素消毒液」を作ります。なお、家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤でも代用できます。

*濃度によって効果が異なりますので、正しく計りましょう。

製品の濃度	食器、カーテンなどの消毒や拭き取り 200ppmの濃度の塩素消毒液		おう吐物などの廃棄 (袋の中で廃棄物を浸す) 1000ppmの濃度の塩素消毒液	
	液の量	水の量	液の量	水の量
12%	5ml	3L	25ml	3L
6%	10ml	3L	50ml	3L
1%	60ml	3L	300ml	3L



- ▶製品ごとに濃度が異なるので、表示をしっかりと確認しましょう。
- ▶次亜塩素酸ナトリウムは使用期限内のものを使用してください。
- ▶おう吐物などの酸性のものに直接原液をかけると、有毒ガスが発生することがありますので、必ず「使用上の注意」をよく確認してから使用してください。
- ▶消毒液を保管しなければならない場合は、消毒液の入った容器は、誤って飲むことがないように、消毒液であることをはっきりと明記して保管しましょう。



●嘔吐したとき

- ①使い捨てのビニール手袋・マスクを着用する。
- ②ペーパータオルや布等で嘔吐物を覆い、外側から内側へ向けて、拭き取り面を折り込みながら拭き取る。
- ③床等に汚物が残らないようにしっかりと拭き取る。
- ④拭き取りに使用した物は、すぐにゴミ袋に入れて密閉し廃棄する。
- ⑤汚物を拭き取った後の床等は、塩素消毒薬で下すように拭き、10分後に水拭きする。